

# 廃棄物処理施設見学バスツアーの実施について（平成26年度第1回）

栃木県環境森林部廃棄物対策課

## 1 取組の趣旨

廃棄物処理施設は、循環型社会の形成において必要不可欠な施設ですが、普段県民の皆さんが目にする機会が少ないこともあり、「迷惑施設」と捉えられることが多いのも事実です。

そこで、県では、平成22年度から、関係団体と連携し、廃棄物処理施設に対する県民理解促進事業を行っています。この事業の一環として、以下のとおり今年度第1回の廃棄物処理施設見学バスツアーが行われました。

## 2 ツアーコンセプト

単に廃棄物処理施設のみを見学するのではなく、工場等の廃棄物の排出状況から見学することで、「廃棄物の排出→処理→再生利用」という循環型社会における廃棄物処理施設の役割を実感できるツアー構成としました。

## 3 実施日

平成26年8月8日（金曜日）

## 4 参加者

41名（うち小学生10名）

## 5 見学ルート

9:10 県庁出発

10:00～11:00 栃木乳業株

【栃木市にある牛乳やヨーグルトなどの製造工場。製造ラインや廃棄物保管施設などを見学。】

12:50～14:10 メルテック株

【小山市にある焼却灰溶融固化施設。焼却灰が溶融固化され路盤材が製造される工程を見学。】

15:25～16:10 株日環 市貝リサイクルセンター

【市貝町にある農業用ビニール破碎施設。農業用ビニールが分別、破碎処理され、再生原料に生まれ変わる様子を見学。】

17:15 県庁到着



## 6 当日の様子

- ・ 参加者の皆さんは、大変熱心に施設を見学していました。また、質疑応答の際には、多くの質問が出され、施設の担当者と活発なやり取りがありました。
- ・ 参加者のアンケートには、「企業の取組と努力を見せて頂き、見聞が広がった」、「普段何気なく廃棄物にしている物が、製品に生まれ変わるリサイクルの現場を見て感動の連続だった」などの意見が寄せられました。

## 7 今後について

今年度第2回目を11月下旬に開催予定です。詳細は県民だよりや県廃棄物対策課のホームページ等でお知らせします。

## 廃棄物処理施設見学バスツアー(平成26年度第1回)アンケート結果

○ 参加者:41名      ○有効アンケート回答数:41件

Q.1 性別を教えてください。 & Q.2 年代を教えてください。 (単位:名)

男性	女性	~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80~
24	17	11	0	2	9	3	9	4	3

Q.3 バスツアーをどのように知りましたか。

①県民だより	②新聞記事	③ホームページ	④学校からの紹介	⑤家族等の紹介	⑥その他
18	5	7	5	3	3

Q.4 参加の理由は何ですか。(複数回答有)

①環境・廃棄物に興味	②産廃施設を見たことない	③その他
22	12	11

・意外と多くの物がリサイクルされていることに驚いた。

Q.5 栃木乳業(株)について。

①良かった	②つまらなかった	③どちらでもない	無回答
40	0	1	0

・焼却灰が人工骨材となり、道路になっていたとは知らなかった。

Q.6 メルテック(株)について。

①良かった	②つまらなかった	③どちらでもない	無回答
40	0	1	0

・焼却されていると思っていたものが、再生されていることを知ることが出来よかった。

Q.7 (株)日環について。

①良かった	②つまらなかった	③どちらでもない	無回答
35	2	2	2

Q.8 今回のバスツアーは、廃棄物の処理や廃棄物処理施設に対する理解を深める上で参考になりましたか。

①参考になった	②参考にならなかった	③どちらでもない
40	0	1

Q.9 Q8で「参考になった」と回答した方にお聞きします。具体的に何の理解が深まりましたか。(複数回答有)

①処理施設の役割	②処理施設の安全性	③製造業者の取組姿勢	④処理業者の取組姿勢
33	17	11	20